



副議長
大沢広太郎



議長
吉井和視

就任のごあいさつ

このたび、私どもが県議会議長並びに副議長
の重責を担うこととなりました。

まことに身に余る光栄であり、その使命と職
責の重大さを痛感しているところであります。

現在、国においては引き続き三位一体の改革
などの地方分権が推進されており、本県
におきまして、指定管理者制度の導入など行
政のスリム化へむけて様々な取り組みがなされ
ています。

世界遺産登録後の観光客の増加や住友金属工
業株(和歌山製鉄所)の新たな設備投資など明るい
兆しは見えるものの、現下の社会情勢は依然と
して厳しい状況にあり、少子高齢化、雇用、環境など様々な課題への対応に県議会
の果たす役割はますます重要になっております。

こうした情勢の中で安心して活力あふれるふるさとを創るため、真の地方自治確立
に向けて県民の皆様のご期待に応えられるよう全力で取り組んで参りたいと決意を
新たにしているところであります。

どうか、今後とも皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

安心して活力あふれる ふるさと創りをめざして 県議会の 新体制決まる

6月定例会

県議会6月定例会は、6月13日から29日までの17日間の日程で開か
れました。

この定例会では、「和歌山県民文化会館設置及び管理条例の一部を
改正する条例」、「和歌山県公立大学法人評価委員会条例」、「委託契
約の締結について」など69議案、知事専決処分報告6件が原案のとおり
可決、同意、承認されました。

また、議長、副議長の辞職に伴う選挙が行われ、議長に吉井和視
議員、副議長に大沢広太郎議員が選出されるとともに、常任委員会
委員と特別委員会委員の選任も行われました。

主な内容

- 1面 6月定例会の概況
議長・副議長就任のごあいさつ
- 2面・3面 常任委員会の構成
知事説明要旨 / 一般質問
- 4面 特別委員会の構成
県議会各会派構成
可決された議案等 / 意見書
県議会からのお知らせ



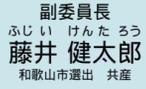
常任委員会メンバー

平成17年6月29日選任・就任

総務委員会(定数8人)



委員長 かつひさ
前川 勝久
西牟婁郡選出 自民



副委員長 けんたろう
藤井 健太郎
和歌山市選出 共産



委員 たけし
新島 雄
和歌山市選出 自民



委員 たけし
小川 武
和歌山市選出 自民



委員 ひろたろう
大沢 広太郎
田辺市選出 自民



委員 ゆういち
中村 裕一
御坊市選出 自民



委員 ひでき
角田 秀樹
和歌山市選出 公明



委員 こうじ
東 幸司
那賀郡選出 県政21

福祉環境委員会(定数7人)



委員長 きみよし
玉置 公良
西牟婁郡選出 新生



副委員長 たろう
尾崎 太郎
和歌山市選出 自民



委員 かずみ
吉井 和視
有田郡選出 自民



委員 かくぞう
向井 嘉久藏
橋本市選出 自民



委員 ゆういち
谷 洋一
東牟婁郡選出 自民



委員 きみこ
村岡 キミ子
和歌山市選出 共産



委員 だいすけ
山下 大輔
和歌山市選出 無所属

経済警察委員会(定数8人)



委員長 まさき
森 正樹
和歌山市選出 公明



副委員長 まさつぐ
前芝 雅嗣
西牟婁郡選出 自民



委員 わたる
町田 巨
西牟婁郡選出 自民



委員 ますひろ
井出 益弘
和歌山市選出 自民



委員 えいそう
宇治田 栄蔵
和歌山市選出 自民



委員 ゆうじ
尾崎 要二
海草郡選出 自民



委員 きくお
阪部 菊雄
伊都郡選出 新生



委員 たかし
長坂 隆司
和歌山市選出 県民ク

農林水産委員会(定数8人)



委員長 まさき
藤山 将材
海南市選出 自民



副委員長 ますゆき
須川 倍行
新宮市選出 自民



委員 まさひこ
山田 正彦
那賀郡選出 自民



委員 やすし
小原 泰
東牟婁郡選出 自民



委員 ひろたか
原 日出夫
田辺市選出 新生



委員 えいき
松坂 英樹
有田郡選出 共産



委員 まつもと
松本 貞次
有田郡選出 県民ク

建設委員会(定数8人)



委員長 けんきち
花田 健吉
日高郡選出 自民



副委員長 なおや
山下 直也
和歌山市選出 自民



委員 まさひろ
門三 佐博
伊都郡選出 自民



委員 たかふみ
飯田 敬文
那賀郡選出 自民



委員 たまひろ
富安 民浩
日高郡選出 自民



委員 あつみ
野見山 海
田辺市選出 新生



委員 りゅうすけ
江上 柳助
和歌山市選出 公明



委員 まさと
和田 正人
和歌山市選出 県民ク

文教委員会(定数7人)



委員長 あさいしゅういちろう
浅井 修一郎
有田市選出 自民



副委員長 こうてん
浦口 高典
和歌山市選出 新生



委員 さかもと のぼる
坂本 登
日高郡選出 自民



委員 ひらこし たかや
平越 孝哉
伊都郡選出 自民



委員 しもかわ しき
下川 俊樹
新宮市選出 自民



委員 しほ
雑賀 光夫
海南市選出 共産



委員 かつひろ
新田 和弘
和歌山市選出 公明

6月定例会より

6月13日に開会した本会議において、木村知事は議案の提案理由の説明に先立ち、JR福知山線列車脱線事故の犠牲者として遺族に対し哀悼の意を表すとともに、被害者の方々にしてお見舞いを述べた。また、西日本旅客鉄道(株)和歌山支社をはじめとした県内の鉄道事業者に対し、列車の安全運行に関する申し入れを行ったことを報告しました。

質疑、一般質問は6月20日から23日までの4日間にわたり、16議員が登壇し、県政各般にわたる諸問題について、活発な議論が展開されました。主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は次のとおりです。

【三位一体の改革】
本県や地方六団体の提言活動の結果、3兆円の税源移譲が示されるなど、一定の成果があった。改革の内容は、国の財政再建に軸足を置き、地方の裁量や責任を拡大して自主的・自立的な行政運営を進めるといった地方分権の観点からは、不十分であったと考える。このことを具体的に検証し、平成

【世界遺産登録後の状況と新たな取り組み】
登録後本県を訪れた観光客は、3090万人と過去最高を記録し、

17年度までの「三位一体の改革」の評価を行い、税源の乏しい地域においては将来的な財源の確保に向けた税財政面での配慮を強く求める必要があることなどを事例を挙げて指摘した。

今後、「真の分権国家」の実現に向けて、さらなる活動を進めていく。

【東南海・南海地震対策】
県内沿岸市町の津波浸水予測図が完成し、県のホームページ等で広く公開している。今後県では、災害時要援護者と避難支援者を事前に登録した避難台帳整備を骨子とする「和歌山県津波避難計画策定方針」を策定する。沿岸市町では本指針をもとに地域ごとの津波避難計画の策定が進められる。また、県民のさらなる防災意識向上を図り、被害を最小限にすることを目的に、地震・津波啓発ビデオを作成した。

【入札制度改革】
県民により良い社会資本をより安い価格で提供するために、入札制度改革に取り組み、具体的な対応策を取りまとめた。その内容としては、指名行為をなくした郵便入札による条件付き一般競争入札などの入札方式の一部の工事に導入するとともに、談合情報対応マニュアルの改正や談合不正行為に対する損害賠償金の大幅引き上げなどを実施していくこととした。また、一方で、県内企業の受注機会拡大に向けた新たな取り組みを始めることにも、企業育成のため自社施工能力や若年者採用等の実績などを反映した企業評価を取り入れていく。

【その他】
貴志川線の存続、県立医科大学の地方独立行政法人化、市町村合併、県立高等学校再編整備、指定管理者制度、機構改革などについても報告した。

質問および答弁要旨

指定管理者制度
この制度はいままでの施設の管理のあり方を変えるのではないかと大いに期待している。逆に言えば非常に大事な方向で運営することが非常に大事だろうと積極的に評価している。ただ、施設がたくさんあるので、指定管理者の選定にあたっては、すべての施設の設けが同じという訳にはいかないと思ってしまう。地域性もあるし、障害者の方の施設については、そこに入っている人の安心と信頼が一番大事だと考えているので、非公募にするという選択も考えていかなければならないと思うが、恣意的に公募・非公募が決められることになると、制度本来のあり方を減殺してしまうことになるので、そういうことのないよう厳正に対処していく。

乳幼児医療費助成制度の拡充
乳幼児医療費助成制度は少子化対策の重要な柱とされており、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、実施している。対象年齢の拡大も含めて制度の見直しについては、県単独医療費助成制度全体の見直しの中で、本年度内に検討を行い、来年度中にも実施したいと考えている。

障害者自立支援法案
現在、国会審議中であるが、大きな改革であり、障害者の人達の生活に大きな影響を及ぼすものであるとの認識のもと、県内36カ所、意見交換会を開催し、その中で提起された意見を真摯に受け止め、厚生労働省に対して負担能力の止め、サービス利用の抑制につながるような形での措置を強く要望し、今後とも、このような姿勢でそのまわりたいと考えている。

保健医療体制の充実
本県の保健医療供給体制は、一次から三次までの3つの体系で整備を進めており、高度医療や特殊医療といった三次医療を担う医療機関においても機能の充実を図っている。さらに救急専門医等が同乗して現場に急行する「ドクターヘリ」の導入やインターネットで医療機関の検索が行える「わかやま医療情報ネット」の運用開始などに努めており、今後も医師の確保や小児救急医療体制の整備を含め、県全体の医療水準の向上を図っていく。

和歌山大学への観光学部設置
国立大学で初めて観光学部を和歌山大学に作るということは非常に意義のあることだと思っており、すでに県では今年の前年度に調査費を計上して、どういふふうにしていくかということを進めている。当面の見通しとしてはなかなか難しいようだが、地道に努力して、常に声を挙げ続けることが大事だと思っているので、県も協力して実現をめざしていきたい。

関西電力(御坊第二発電所)の建設中止
電力需給の低迷など社会経済情勢の変化に加え、燃料であるオリマルジョンの供給停止という国際エネルギー環境の変化に伴う、やむを得ないものと受け止めているが、発電所の建設に伴う地元への経済波及効果が大きく期待されたことから、大変残念に思っている。関西電力には御坊市や経済関係者などの地元の声を十分聴取し、理解が得られるよう、誠意をもって対処することを望んでいる。

J-プラットフォーム段差の実情について
現在、県内のJR紀勢本線(和歌山市駅を除く)の駅のプラットフォームの高さは110cmが6駅、92cmが49駅という現状である。JRによると以前、列車にはステップが設けられていたが、現在、車両の床がフラット化となり、段差が生じてきている。駅によっては、カーブ上に設置された駅もあり、場所によっては段差がより大きくなることである。県としては、駅のバリアフリー化の整備について、市町村が積極的に国や県の補助制度を活用できるように働きかけていく。

水道について
本県における水道接続の現状は、平成16年度接続率が県平均65.1%と全国的にも低い状況にある。これまでも、市町村において接続に伴う助成金や融資あっ旋等の促進施策とあわせて、啓発による接続の促進に努めてきたが、今後とも、あらゆる機会をとらえ接続の必要性についてよりわかりやすい説明を行うなど、接続率の向上に積極的に取り組んでいく。また、より経済的、効率的な整備を行い、コスト削減に取り組んでいく。

水質保全と浄化槽維持管理
これまで、浄化槽維持管理の重要性の啓発に努めてきたが、今後、あらゆる機会をとらえ水質検査等の必要性について啓発を行っていく。浄化槽検査料金については、全国的にも比較的高い状況であるので、コスト構造の分析など、料金について検討していく。また同時に、本県の地理的条件などを踏まえ、より効率的で機動的な検査のあり方について検討していく。

環境先進国に学ぶ
県でも「企業の森」を進めていて、企業や労働組合がCO₂吸収に貢献した量を公的な機関が認定し、クレジット取引が出来る仕組みを政府要望しているが、ニュージランドでの森林の育成者に新たな付加価値をつけるという制度についても、研究していく。

し尿又は浄化槽に係る
汚泥の海洋投棄処分の全面禁止
し尿処理の現況は、基本的には県内14施設での陸上処理体制が整備されているが、施設の改修工期等や定期清掃時に発生するし尿及び汚泥については、

熊野高校に看護科の移設については、熊野高校に新たな教育環境のもとで看護教育が展開できることなど、様々な教育効果が期待されることから決定した。また、紀南地方の昼間定時制の設置は地域の長年の願いであり、各地域の中学校卒業生生徒の状況や進路希望などを踏まえて、周南見分校については、これまで果たしてきた役割や関係者の意見を考慮して、今後の志願者の動向や地域の取り組み等を見守っていく。今後とも、より充実した教育環境を整え、魅力ある高校づくりを推進していく。

県議会からのお知らせ

県議会手話だよりについて

県議会では、主に聴覚障害者の方を対象に手話等による議会情報のテレビ放映を行っています。

テレビ・ラジオの放送

県議会では、本会議場での一般質問等の様子を当日の夜にテレビ・ラジオにより県民の皆さんにお知らせしています。

虚礼廃止にご協力ください

県議会では「議員の政治姿勢と虚礼廃止に関する決議」や公職選挙法に基づき、虚礼を廃止した議員活動を行っています。具体的には次のような項目です。県民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

- ・冠婚葬祭、慶事、見舞い及び各種行事等における寄付行為の禁止(本人が出席する結婚式の祝儀、香典等は除きます。)
- ・中元や歳暮の贈答はしない
- ・あいさつ状の禁止
- ・議員名、議員団名及び会派名による年賀・暑中見舞い等の各種広告の禁止
- ・お祝い・おくやみ電報等は出さない(親戚・友人は除きます)

議員の資産公開について

県議会議員の政治倫理の確立を目的に制定された資産公開条例に基づき、平成17年度の資産等補充報告書(平成16年中の補充報告書)が平成17年7月4日から公開され、閲覧が実施されています。報告書の保存期限は5年間で、だれでも閲覧することができます。

閲覧

月～金曜日 9:00～17:45まで県議会事務局総務課で(祝日・年末年始除く)。

詳しくは、県議会事務局総務課 ☎073-441-3560

表彰

藍綬褒章 新田 和弘 議員 拝謁式(平成16年11月15日)

藍綬褒章 松本 貞次 議員 拝謁式(平成17年5月27日)

永年にわたり県政の進展と郷土の発展に尽くした功績により表彰されました。

請願・陳情をするには

県民の皆さんの希望や意見を直接県政に反映させるために、請願書や陳情書を県議会に提出することができます。

請願書を提出するには

請願の要旨及び請願の理由

提出年月日

請願者の住所(法人の場合にはその所在地)を記載し、請願者(法人の場合にはその名称を記載し、代表者)が署名又は記名押印の上、県議会議員の紹介署名(1名以上)を付して提出してください。

提出された請願は、所管の常任委員会で審査の上、本会議で賛否を決め、採択されたものは、知事や関係機関に送付して、その処理の経過及び結果の報告を求めます。

また、採択請願で国の施策を要望するものについては、国会・政府に意見書を提出することが例となっています。

陳情については、その写しを全議員に配布して、委員会審査等の参考にします。陳情の様式は、請願に準じたもので結構ですが、請願のように議員の紹介は必要ありません。

詳しくは、県議会事務局議事課 ☎073-441-3570へ

県議会(本会議)の傍聴は

県議会本会議は公開となっていますので、原則としてだれでも傍聴できます。

自分たちの選んだ議員によって構成された県議会がどのようなことを、どのように審議するのかを一度ご覧になってはいかがでしょうか。県議会は、年4回(2月、6月、9月、12月)に開催される「定例会」と、必要がある場合、臨時に開催される「臨時会」があります。傍聴を希望される方は、開催日等をお確かめください。

詳しくは、県議会事務局議事課 ☎073-441-3570へ

編集部から 県議会の広報紙「和歌山県議会だより」特集号は、年1回発行しています。皆様のご意見・ご要望は、議会事務局調査課までお寄せください。☎073-441-3580 / FAX073-441-3581 Eメール e2003001@pref.wakayama.lg.jp

特別委員会

(平成17年6月29日選任・就任)

人権問題等対策特別委員会(定数11人)	関西国際空港対策特別委員会(定数12人)	防災等対策特別委員会(定数11人)	半島振興過疎対策特別委員会(定数12人)
飯田 敬文	小原 泰	中村 裕一	富安 民浩
山下 直也	山田 正彦	長坂 隆司	角田 秀樹
前川 勝久	小川 武	尾崎 太郎	須川 倍行
花田 健吉	向井 嘉久藏	新島 雄	町田 亘
藤山 将材	下川 俊樹	吉井 和視	浅井 修一郎
前芝 雅嗣	宇治田 栄蔵	門 三佐博	坂本 登
野見山 海	尾崎 要二	平越 孝哉	大沢 広太郎
雑賀 光夫	浦口 高典	井出 益弘	谷 洋一
江上 柳助	阪部 菊雄	玉置 公良	原 日出夫
松本 貞次	村岡 キミ子	藤井 健太郎	松坂 英樹
山下 大輔	森 正樹	新田 和弘	東 幸司
	和田 正人		

議会運営委員会

(定数13人) (平成17年6月29日選任・就任)

谷 洋一	小川 武	飯田 敬文	浦口 高典	和田 正人
小原 泰	門 三佐博	尾崎 要二	藤井 健太郎	
新島 雄	平越 孝哉	中村 裕一	森 正樹	

図書委員会委員

(平成17年6月29日選任・就任) 委員(定数13人)は、議会運営委員会の兼任

予算特別委員会

(定数19人) (平成17年6月29日選任・就任)

下川 俊樹	小川 武	藤山 将材	富安 民浩	森 正樹
向井 嘉久藏	前川 勝久	飯田 敬文	野見山 海	新田 和弘
新島 雄	浅井 修一郎	井出 益弘	玉置 公良	長坂 隆司
山下 直也	花田 健吉	宇治田 栄蔵	雑賀 光夫	

委員長 副委員長

和歌山県議会会派名簿

(平成17年6月29日現在)

自由民主党県議団(27人)

顧問	門 三佐博	吉井 和視
顧問	町田 亘	飯田 敬文
顧問	平越 孝哉	大沢 広太郎
顧問	下川 俊樹	谷 洋一
顧問	井出 益弘	山下 直也
会長	宇治田 栄蔵	山田 正彦
副会長	尾崎 要二	坂本 登
副会長	小川 武	小原 泰
幹事長	新島 雄	前芝 雅嗣
副幹事長	須川 倍行	浅井 修一郎
政調会長	中村 裕一	花田 健吉
政調副会長	前川 勝久	尾崎 太郎
	向井 嘉久藏	藤山 将材
	富安 民浩	

新生わかやま県議団(5人)

顧問	阪部 菊雄	副代表	原 日出夫
代表	玉置 公良	幹事長	浦口 高典
副代表	野見山 海		

日本共産党県議団(4人)

団長	村岡キミ子	雑賀 光夫
	藤井健太郎	松坂 英樹

公明党県議団(4人)

代表	新田 和弘	副幹事長	江上 柳助
幹事長	森 正樹		角田 秀樹

県民クラブ(3人)

委員長	和田 正人	長坂 隆司
幹事長	松本 貞次	

無所属クラブ(1人)

代表	山下 大輔
----	-------

県政21(1人)

代表	東 幸司
----	------

議決結果・意見書等

項目	件数	概要	結果
知事提出の予算案件	3件	・平成17年度和歌山県一般会計補正予算 ・平成17年度和歌山県立医科大学附属病院特別会計補正予算 ・平成17年度和歌山県営港湾施設管理特別会計補正予算	原案どおり可決
〃 条例案件	39件	・和歌山県民文化会館設置及び管理条例の一部を改正する条例 ・和歌山県国際交流センター設置及び管理条例 ・和歌山県NPOサポートセンター設置及び管理条例 他	
〃 その他案件	16件	・町の廃置分合について ・公立大学法人和歌山県立医科大学定款の制定について ・訴訟の提起について 他	
〃 人事案件	11件	・和歌山県監査委員の選任につき同意を求めるについて ・和歌山県公安委員会の委員の任命につき同意を求めるについて ・和歌山県人事委員会の委員の任命につき同意を求めるについて 他	同意
知事専決処分報告	6件	・平成16年度和歌山県一般会計補正予算 ・和歌山県税条例の一部を改正する条例 ・和歌山県営住宅条例の一部を改正する条例 他	承認
請願	4件	・障害がある人の地域生活の拡充を求めることについて ・静ひつな教科書採択環境の確保について	採択 2件
		(継続審査 2件)	
意見書	6件	・和歌山大学への観光系学部の設置を求める意見書 ・都道府県議会制度の充実強化に関する意見書 ・住民基本台帳の閲覧制度の早期見直しを求める意見書 他	可決